

日常生活の中で、時折、心に響く歌が流れているのに気が付くだろうか？
その歌はその時に、完全にマッチしていると驚くことがある。映画音楽のようだ。
その歌を聞く度に、その時のことが思い起こされる。

私が聖書の御言葉を聞く折、特に福音書は、どんな音楽が流れるのかと想像してしまう。
例えばイエスが荒れ野で悪魔との対決で勝利し、誘惑者の罠に掛からず歩み去られる時、
私にはQueen（ロックバンド）の“another one bites the dust”の歌が聞こえてくる。

本日の福音書（ヨハネ伝1:43-51）で、イエスがナタナエルに話しかけられる時、私の頭に
Bachman Turner-Overdrive'sの“You ain't seen nothing yet”の歌が飛び出てくる。
そのコーラスは覚えやすく、次のようになっている。

“You ain't seen nothin' yet(あなたにはまだ何も見えないんだよ)、 B-B-B-Baby,
you just ain't seen n-n-n-nothin' yet(ベイベー、まだ何も見えないんだよ)”。

いちじくの木の下にいたナタナエルが、イエスの視野に入ってきたので
「もっと偉大なことをあなたは見ることになる。」とイエスは断言された。

イエスが本当にナタナエルを見たのかは不明である。あるいはイエスが持つておられる
超自然的な透視力だったかもしれない。それはイエスが井戸端の女（ヨハネ4:7）に話しか
けられる以前に、すでにその女の過去をご存じであったことのものである。
イエスが正しかったことはよく分かっている。弟子たちはまだ何も見ていないのだ！

聖書の中に、召された人々の多くの例が出てくる。最初の弟子たちはよく知られている。
野を焼き払うモーセ、本日の旧約（サムエル記上3章）に出てくるエリアとサムエル。
どうしてイエスは人々に「わたしに従いなさい」と呼んでおられたのか？

イエスは共同体を作ると明確に決心されていた。イエスがフィリポとナタナエルを一員に
加えた時、その数が倍になったことに気付くだろう。二人から始まり四人となった。
イエスは、教会成長戦略のある種の魔法を持っておられたのだろうか？
私はそうは思わない。イエスがなされていたことは、もっとシンプルであったと思う。
イエスの体を借りて現れた神は呼んでおられた。人々は耳を傾け始め、他の人を呼んだ。

最初にサムエルとエリアを見てみよう。エリアは老人であり、視力が落ちて来ている。
その一方、サムエルは若く、宣教を始めたばかりである。

神はサムエルを呼ばれた。呼ばれたのが聞こえたのだが、それはエリアの声だと思った。三度目に呼ばれた時は、神がサムエルをお呼びになっているのだとエリアは悟った。「次に神のお声が聞こえた時は、答え、聞きなさい」と、思慮深くサムエルに忠告した。サムエルは素直に従った。古代イスラエルのある期間の間に、サムエルと神との驚くべき出来事を私たちは知ることができる。

イエスが「従いなさい」と呼び掛けられた時、フィリポは納得したように見えた。しかし、ナタナエルは納得しなかった。まず最初には、ナタナエルはイエスの出身地に対して少し軽蔑をしていた。しかしそれは一般的であった。地方の町々間のねたみである。Vancouver Whitecaps のファンが、Seattle Soundersに持つものと似ているが違うのだ。これはライバル意識である。

次に起きたことは、偉大な教会へと成長した神秘である。フィリポはナタナエルに「モーセが律法に記し、予言者たちも書いている方に出会った」と語ったが、ナタナエルは納得しなかった。これは教会で行事を催す時、牧師は信徒に人々を招待するようにと勧めるようなものだ。「いや、教会と余り関わりたくない」と言う隣人や友を招待する勇気を奮い立たせよう。

このような時、フィリポのことを考えよう。ナタナエルが余り関心を示さなくてもフィリポは自信を失うことなく、「来て、見なさい」(come and see)と言った。歌が流れる“You ain't seen nothin' yet !”(あんたにはまだ何も見えてないんだよ)。

教会は、地域社会に建物がなければ存在しない。イエスの初期の宣教を見てみよう。イエスが最初になされたのは、人々に呼び掛けることであった。イエスは^{あらの}荒野で40日間、孤立して過ごされ、そして荒野から歩み出られた。(私の頭に歌が流れる“another one bites the dust”「もう一人が敗北する」)そしてイエスは人々を呼び始められた。「来て、見なさい」

「もっと偉大なことをあなたは見ることになる」

“You ain't seen nothing yet !”(あんたにはまだ何も見えないんだよ！)

今、私たちは孤立の時である。友と食事をするために外出することや、誰かを訪問する誘惑は間違いなく存在する。しかし私たちは引き締めなければならぬ。その間、私たちは地域社会を成長させる多くのことができることがある。

例えば聖書勉強会、孤立を感じている友達がいるだろうか？

日本語で話す火曜日の勉強会を楽しむことができるだろう。

彼らに呼びかけなさい。そして招待するのだ。

必要なことは3つの単語、“come and see”（来て、見なさい）を話す勇気である。

もし拒否される恐れを感じるなら、心配することはない。

今日の詩編を聞いてみよう。

「主よ、あなたはわたしを探り、わたしを知っておられる。」（詩編139）

神はあなたを知っておられる。

あなたが何を考え、何を言うとするのか。

あなたが持つ恐れ、希望、夢、転落を知っておられる

神はあなたを受け入れ、あなたを愛する子と呼ばれる。

なぜなら神はあらゆる所で、私たちを見ておられるからだ。

私たちは神を恐れて隠れる必要はない。

いや、私たちはそうはできないのだ！

要は、神は聖霊を通して一般の私たちのような人々のために働いておられるのだ。

神が計画されていることを、人々が“来て、見る”ために神は私たちを必要とされている。

それが私たちの今の仕事であり、霊が残されたことを仕上げてくれるだろう。

そしてそれは神の栄光へと導かれる。アーメン。

（文責長澤猛）